

欧洲園芸行脚 (4)

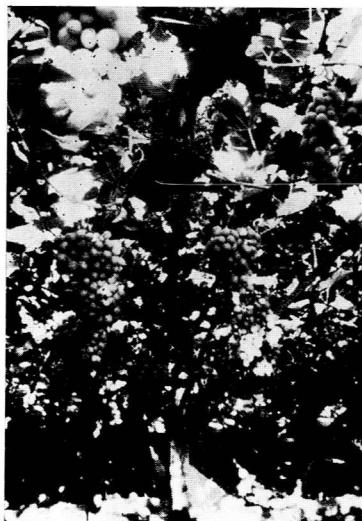
葡萄の温室栽培

沢田英吉 北海道大学農学部 園芸第一教室 教授

欧洲で、葡萄の温室栽培で有名なのは、ベルギーの首都
ブリュッセル市のあるホイラーのそれであろう。この
温室葡萄は世界的に有名である。

この部落にはあちこちに、小高い丘があって、それらの
丘はみな見渡す限り、硝子室で被われている。それは、
実に壯觀である。だから「ガラスの部落」という別名がある。
る。

温室の数は全部で3万2,000棟だそうであるが、面積に



して500箇に及ぶ
という。一棟残らず、全部葡萄だけ
を栽培している。葡萄の年生産量は
1万2,750トンと言
われているが、そ
の大半は、国内
消費にあてられ、
ほんの少しだけが
輸出されている。

加温室と無加温
室とをうまく組み

合わせることによって、収穫は春の4月から開始され、夏
から秋を経て冬に及び、時には翌年の4月にまで至るとい
う。だから、一年中を通じて、いつでも葡萄の収穫が行な
われている。

加温には主として石炭が使用されているが、その総量は
年に20万トンに及ぶということである。

品種の重なるものは、ローヤル、グローコールマン、ブ
ラックハンブルグ、レオボルドⅢである。

試みに、温室内に入つてみると、見事な房が累々と下垂
し、実に壯觀である。温室が連棟式になつていて、葡萄の
樹が棟と棟との境のところに植えられ、1株から出た太
枝が、相接する両温室の屋根に誘引されている。(写真参
照)

1樹ごとに剪定のやり方を吟味してみたところ、それは



徹底した短梢剪定(多くは1芽で切つてあった)であった。

この部落には街中至るところに、葡萄の露店売りがあ
る。試みに買って試食してみたが、外観の割に味は物足り
ない感じがした。早もぎのせいだろうと思う。

この部落の葡萄は世界的に有名だと申し上げたが、現地
でたずねたところによると、昔はとても有利に経営出来た
が、最近は、アフリカやイタリーの露地作りの葡萄が安く
入つて來るので、昔ほどもうからなくなつたとの事である。
そうきいてみると、気のせいか温室までが古くさく見え、
いたんだところも修理してないところもあるなどして、も
の寂しい感がした。

ついでながらオランダの温室葡萄も相当なものである
(温室面積は総計4百丁歩に及ぶ)。ベルギーと異なり、葡

萄温室だけが集団
をなしていない。
蔬菜温室群の中に
散在的に混在して
いる。主なる品種
は、ブラックアリ
カントが第一で、
これに次いで、ブ
ラックハンブル
グ、ゴールデンチ
ヤンピオンの順と
なっている。

